

令和2年度決算に対する 各会派の意見表明・討論

令和2年度一般会計ほか、4特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会(委員長 柳沢よしみ、副委員長 有馬豊)を設置し、12日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

区民生活向上のため着実な前進を！

練馬区議会自由民主党(15人)

令和2年度練馬区一般会計ならびに4特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。

日本経済の景況は、新型コロナウイルス感染症による急速な落ち込みから回復局面にあるが、歩みは緩やかであり、依然として厳しい状況が続いている。

区においても、令和2年度予算は「第2次みどりの風吹くまちビジョンの実現に向け、これまでの成果を活かして、区民とともにさらに前に進む予算」というにふさわしいものであったが、新型コロナウイルスの直撃を受け区政、区財政を取り巻く状況が大きく変化した。こうした中にあっても、前川区長を先頭にビジョンに掲げる施策を着実に進め、保育所待機児童ゼロの達成をは

じめとして様々な政策分野で成果を上げつつ、コロナ禍についてはワクチン接種体制「練馬区モデル」の構築等、区民の生命と健康を守る取組を同時に進めてきたことを評価。

コロナ禍からの脱却を目指すには、持続可能な財政運営を堅持しながら、社会情勢の変化に対応した施策の充実に取り組む必要がある。また、区政を進めるためにも、施策の優先順位を見極め、不要不急の歳出の抑制を図り、歳入の増加を目指していかんければならない。決算状況をしっかりと検証し、課題を確認することが非常に重要である。

【議会費・総務費】①財政状況を定めながら区内経済の活性化につながる予算編成を。②危機管理室と各部署が一層連

携し区民の安心安全を。③災害時のトイレ問題やドローン活用等の調査研究を。④各部署が連携しマイクロツーリズム等練馬の魅力の発信強化を。⑤デジタルペイド対策の強化を。⑥区公式LINEの更なる活用を。⑦ICTを活用した業務改革や自治体デジタルトランスフォーメーションの推進を。⑧適切な時期に財政出動を。⑨切れ目のない経済対策と消費喚起を。【区民費・地域文化費・国民健康

【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計】①窓口における非対面・非接触の更なる取組を。②マイナンバーカードの普及促進のため利便性の周知を。③電子決済の多様化と公金納付への拡大を。④口座振替手続オンライン化の公金支払いへの拡大を。⑤地域活動倉庫の区東部地域への早期設置を。⑥映像文化のまちづくりに特色を。⑦国保滞納者の徴収強化を。⑧申請書一括作成システムの利用率向上を。⑨パラスポーツやニュースポーツ等の発展へ様々な工夫や施設の有効活用で環境整備を。⑩凍結されている総合体育館の改築基本計画に早期着手を。

【議会費・総務費】①財政状況を定めながら区内経済の活性化につながる予算編成を。②危機管理室と各部署が一層連

【産業経済費・環境費】①プレミアム付商品券事業の更なる拡充を。②商店街を含む区内事業者のキャッシュレス化の推進を。③特定生産緑地指定の最終締切りに向け引き続き努力を。④区内産アスパラガスの茎を利用したほうじ茶は農福連携の推進や環境面からも貴重な取組として周知を。⑤都市計画交付金を活用し農地の積極的な買取りを。⑥果樹あるファームは野菜収穫等多様な事業展開を。⑦憩いの森の保全と管理内容に応じた資器材の提供を。⑧都市農業課と保健給食課が連携し給食食材を直接農家から仕入れる学校の拡大を。⑨ごみの分別はアプリの活用等で更なる啓発を。⑩清掃リサイクル事業執行体制の再構築を。【保健

【保健福祉費・介護保険会計】①介護予防・重度化防止の更なる取組を。②引き続き医療機関・医療従事者に対する支援を。③練馬区モデルでワクチン接種の更なる推進を。④コロナ対応で業務量が激増した職員への適切な評価と手当を。⑤敬老祝品は事業を継続し選択商品の充実を。⑥団塊の世代がピークを迎える。次期制度への対応に全力を。⑦带状疱疹ワクチン接種費用の助成を。⑧乳がん検診受診率の向上を。

【都市整備費・土木費】①放置自転車撤去事業の体制見直しを。②自転車の特性に合わせたマナー等の啓発を。③大江戸線延伸事業への寄附者に魅力的な体験機会の提供を。④取用にかかる地権者に丁寧な説明を。⑤公園の管理は福

先は学校周辺の商店等の優先的な活用を。【子ども家庭費】①青年リーダーの活躍の場を。②ねりっこクラブの更なる増設を。③高校生までの入院費の助成を。④結婚支援の取組を。⑤特別定額給付金と都の出産応援事業の対象のはざまに生まれた子どもへの支援を。

【子ども家庭費】①多胎児の保護者支援のためベビシッター利用支援事業の導入を。②学童クラブ待機児童解消のためねりっこクラブの早期全校実施を。③地域偏在等に配慮しながら保育所待機児童ゼロの継続を。④多くの医療的ケア児が入園できるような保育所優先選考の拡充を。⑤保育施設のICT導入へのサポート体制を。⑥家庭的保育事業の優先選考方式の周知と保育連携を行っている認可保育所での代替保育制度の確立を。

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

安定した区政運営で、経済と生活の再生を！

練馬区議会公明党(11人)

令和2年度練馬区一般会計および4特別会計歳入歳出決算の認定に賛成の立場から意見表明を行う。【議会費・総務費】①新型コロナウイルス感染症の第6波に備えた対策を。②区民が求める情報をリアルタイムに届けるためRS機能の周知を。③区民意識意向調査の回答項目の改善を。④総合評価方式入札の拡大を。⑤内閣府の防災・復興ガイドラインの積極的な活用を。⑥行政窓口ではLGBT等の性的少数者に配慮した対応手引の作成を。⑦女性の失業が深刻な状況。就活講座等の開催を。【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計】①マイナンバーカードの普及は年齢層に応じた推進策を。②とれたてねりまアプリ等と連携し区独自のマイナビポイントリスムの構築を。③窓口での手数料支払いにもキャッシュレス化の拡大を。④地区区民館や地域集会所のバリアフリー化を。⑤パラスポーツの楽しさを体験できる機会の拡

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

エッセンシャル・ワーカーへ敬意と感謝を

練馬区議会未来会議都民ファーストの会・国民民主党(6人)

令和2年度一般会計、4特別会計決算の認定に賛成。①コロナによる財政への影響を懸念。国や都の支援金等の動向等を注視し予算編成を。②30代への健康診査を20代まで拡充を。③区立運動場の個人利用枠拡充を。④コロナ関連商品の送りつけ商法詐欺の被害を減らす取組を。⑤産業振興公社と連携し開催する都市農業等のビジネスチャンス交流会は幅広い職種が参加できるように取組を。⑥公共自転車

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活

【保健福祉費・介護保険会計】①医療的ケア児サポートブックを作成し支援に活用を。②多機能型地域生活支援拠点の拡充を。③認知機能低下を予防するため脳トレのオンラインゲームの活用を。④コロナ後遺症相談窓口の設置を。⑤遠隔手話通訳サービスの早期導入を。⑥中等度難聴児・者の補聴器の買換えと人工内耳のイヤーマールド購入への助成を。⑦網膜色素変性症患者の暗所視支援眼鏡を日常生活



決算特別委員会

習の保障と適正な成績評価を。⑫子ども向き合う時間の確保のため教員の働き方改革プラン見直しを。⑬保健給食課や農業者等が連携し学校給食で地場産農産物を活用できる体制構築と予算増額を。⑭将来の在宅医療と在宅介護の仕組みに生かすため自宅療養支援の検証を。⑮コロナワクチン未接種者が差別的扱いを受けないよう配慮を。⑯SNSを活用し妊婦への正しいワクチン情報の発信と感染した妊婦が安全に出産できる体制を。⑰PCR・抗原検査の特徴を

生かしワクチン接種ができない12歳以下の子どもたちの検査環境拡充を。⑱コロナ禍でベットの飼育放棄や動物虐待増を懸念。警察や都と連携し周知啓発を。⑲盲導犬の店舗受入れ拒否を減らすためユーザーから直接声を聴く機会をつくるようアイメイト協会と連携し周知啓発を。⑳学童クラブでの障害児への支援は障害特性等により多岐にわたる。保護者のニーズを聴き可能なことから対応を。㉑保育園で医療的ケア児の研修は保育士全員が受けられる体制を。

りの工夫を。③オリ・パラ関連経費は区民に分かりやすく示せ。④住まい確保支援事業対象者の早期拡充を。⑤エネルギービジョンに脱炭素・脱原発を掲げよ。⑥プラスチック製品の拡大生産者責任の早期実施を国に求めよ。⑦ひとり親家庭の生活実態を踏まえ支援の拡充を。⑧精神障害者の地域包括ケアは関係機関との連携充実を。⑨就労継続支援B型事業所の新報酬体系の周知を。⑩DV相談支援員は関係機関連絡会議に出席せよ。⑪虐待対応拠点での面談DV対応は見逃さず迅速に。⑫保健所非正規職員の安定的・継続的な勤務体制を。⑬西武新宿線立体交差化に伴う補助230号線整備事業は計画線路上の学校関係者や保護者に丁寧な対応を。⑭前原交差点「新青梅

街道間の外環の2事業は住民合意なく進めないように求めよ。⑮特別支援教育の研修充実を。⑯学校図書購入予算の増額と図書館管理員の直接雇用を。⑰学校のネットワーク環境改善を。⑱教員用タブレットの配布を。⑲通学時荷物の重量軽減を。⑳就学不明の外国籍児童生徒の実態調査を。㉑子どもたちが自ら考え判断するシナズンシップ教育を。㉒ギフトッドの子どもへの支援を。㉓子育て施設職員の定期的なPCR検査と特別奨励金支給を。㉔区立保育園の委託後2割の子どもに心配な点が出て。委託・民営化の見直しを。㉕保育園・学童クラブの質の向上を。㉖子育てスタート応援券は窓口を一本化しオンライン申請を。㉗練馬城址公園に古城の塔を残せ

なごころ、命、暮らし、暮らし、住民福祉の増進を
日本共産党練馬区議団(5人)

練馬区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計および後期高齢者医療会計の4決算に反対する。

反対理由は、コロナ対策が不十分で、区民・事業者への支援が行き届いておらず、住民合意のない再開発事業を推進する等、住民の願いに応えていないため。

約993億円の基金を活用し、区民の命と暮らしを全力で守る区政を求め、以下要望する。

①会計年度任用職員の更新の上限を撤廃し経費加算を支給せよ。②国保等保険料引下げ

のための支援を国や都に求め、区としても法定外繰入れを行え。③保険料のコロナ減免の対象をコロナ前の収入と比較可能とし拡大せよ。④事業者の家賃等固定費の支援を。⑤太陽光発電設備設置の補助額を引き上げよ。⑥持続化給付金や家賃支援給付金の再実施と十分な補償を国や都に求めよ。⑦フードドライブ事業の窓口を常設し子ども食堂等に効果的に配分せよ。⑧福祉タクシール券の年齢制限を撤廃し精神障害者手帳2・3級にも拡充せよ。⑨手話言語条例は、

令和2年度一般会計および各特別会計決算の認定に賛成。今後の厳しい状況予測から事業計画の精査や再編と区民の理解が必要。①30代以下の区職員のメンタルヘルスの動向を注視し予防やケアを。②委託事業から得たノウハウを生かし可能なものは区の直営に。③都市農業は観光施策とも連携し魅力発信を。④コロナ禍後の地域コミュニティ形成に一層の支援を。⑤生活保護ケースワーカーの組織体制を整えキャリア・スキル向上を。⑥都に河川・下水道・貯留池

意思疎通に関する条例と独立して制定を。⑩精神疾患を持つ人向けのショートステイを増やせ。⑪子育て施設での定期的なPCR検査等と自宅療養者支援の拡充を。⑫西武新宿線立体化は住民合意がない中で進めるな。⑬みどりバス30分に1便の実現のため運転手確保等に支援を行うと

ポストコロナも見据え、事業計画の精査を
練馬区議会立憲民主党(3人)

令和2年度練馬区後期高齢者医療会計歳入歳出決算、議案第62号・令和2年度練馬区一般会計歳入歳出決算に反対し、議案第63号・令和2年度練馬区国民健康保険事業会計歳入歳出決算、議案第64号・令和2年度練馬区介護保険事業会計歳入歳出決算、議案第65号・令

等整備の要請を。⑦雨水流出抑制への着実な取組を。⑧浸水被害に有効な止水板の設置費用の助成を。⑨非常時の児童生徒の学習機会確保のため実効性あるオンライン授業体制の構築を。⑩児童生徒への心理的影響を認識しオンライン授業の柔軟な運用を。⑪主権者教育は義務教育段階からの取組を。⑫子どもがスマホを正しく利用できる教育を。⑬様々な発達障害児に対応するため保護者や従事者等の支援を。⑭幼保小連携協議会に障害児専門の会議体の設置を。

「豊かさ」を取り戻す、予防と復興政策を
ふくし蒼風会(1人)

決算認定に賛成の立場から意見表明を行う。①税金の収納方法は全国統一に合わせ、定着やコスト削減に向けた検討を。②地球温暖化対策啓発事業は学校教育ICT化との連携等で更なる推進を。③コロナ禍で再創業の相談件数が増加。手厚い支援を。④第5波の経験を踏まえ入居型施設

への支援の在り方等の検討を。⑤マンション管理適正法の改訂により区の関与と権限が拡大。区民の財産と安全を守るべく推進計画の策定を。⑥幼稚園のICT化推進への手厚い支援を。⑦オリ・パラ教育の今後の展開に期待。⑧保育士の研修体制整備を。オンライン・オンデマンド開催も検討を。

区内産業の育成を図り、74万人の区民、高齢者対策に1層の努力をすべきである。

令和2年度決算に対する各会派の態度

会計	* 自民党の議員数は、議長を除いた人数								
	自民党	公明党	練馬会議	インクル	共産党	立憲民主	オンブズ	蒼風会	結果
一般	○	○	○	×	×	○	×	○	認定
国民健康保険事業	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
介護保険	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
後期高齢者医療	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
公共駐車場	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○賛成 ×反対